

# 決算概要説明資料

(2012年3月期決算 業績説明会)

2012年5月11日

 住友林業株式会社

# ◎目次

## ➤ 2012年3月期 決算概要

1. 総括	・・・	P3
2. 総括(数理差異影響除くベース)	・・・	P4
3. 売上高及び経常利益	・・・	P5
4. 経常利益増減実績	・・・	P6
5. 住宅・不動産の受注・販売実績	・・・	P7
6. 投資案件	・・・	P8

## ➤ 2013年3月期 業績予想

1. セグメントの主な変更について	・・・	P10
2. 総括	・・・	P12
3. 売上高及び経常利益	・・・	P13
4. 経常利益増減予想	・・・	P14
5. 住宅・不動産の受注・販売見通し	・・・	P15
6. 投資案件	・・・	P16
7. 損益・売上高経常利益率・ROCE	・・・	P17

# 2012年3月期 決算概要

---

# 1. 総括 ◇決算短信参照 p. 42

◆新設住宅着工戸数の増加により堅調に推移

⇒ **経常利益 207億円**（前期比+45.8%）

◆特別損益 △30億円：海外子会社の固定資産の減損処理等

⇒ **当期純利益 93億円**（前期比+79.1%）

（単位：億円）

（連結）	決算ベース			
	11/3期	12/3期	前期差	前期比
売上高	7,975	8,319	+344	+4.3%
売上総利益	1,326	1,369	+43	+3.2%
販管費	1,183	1,177	△6	△0.5%
営業利益	142	192	+50	+34.8%
経常利益	142	207	+65	+45.8%
当期純利益	52	93	+41	+79.1%

## 2. 総括(数理差異の影響除く)

◆数理差異 △49億円:国債利回りの低下による割引率の変動等

◆数理差異の影響を除く本業ベースの経常利益 256億円(前期比+50.8%)

(単位:億円)	数理差異の影響除くベース			
(連結)	11/3期	12/3期	前期差	前期比
売上高	7,975	8,319	+344	+4.3%
売上総利益	1,326	1,369	+43	+3.2%
販管費	1,155	1,128	△28	△2.4%
営業利益	170	241	+71	+41.6%
経常利益	170	256	+86	+50.8%
当期純利益	69	122	+54	+78.4%

数理差異の影響	
11/3期	12/3期
+28	+49
△28	△49
△28	△49
△17	△29

## 3. セグメント売上高及び経常利益

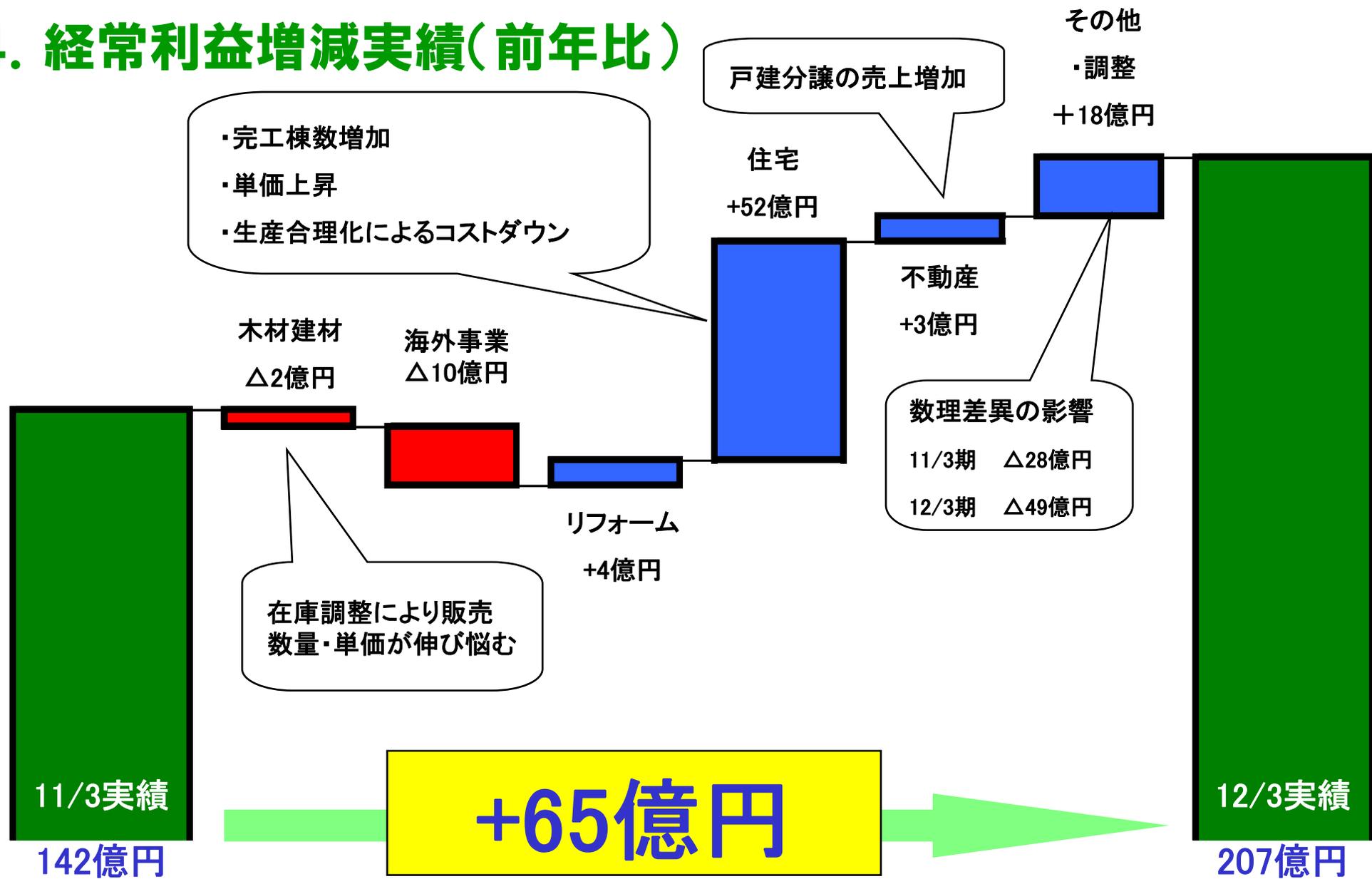
◇決算短信参照 p. 42

(単位:億円)

(連結)	売上高				経常利益			
	11/3期	12/3期	前期差	前期比	11/3期	12/3期	前期差	前期比
木材建材事業	3,902	3,998	+96	+2.5%	48	47	△2	△3.7%
海外事業	332	376	+44	+13.1%	△18	△29	△10	—
住宅事業	3,463	3,747	+284	+8.2%	190	246	+56	+29.7%
不動産事業	509	442	△66	△13.1%	9	12	+3	+32.1%
その他	135	121	△15	△10.8%	5	7	+2	+41.3%
調整	△367	△365	+1	—	△92	△76	+16	—
合計	7,975	8,319	+344	+4.3%	142	207	+65	+45.8%

- 木建 :国内流通事業は堅調に推移するも、国産材流通・国内製造事業が苦戦。
- 海外 :中国、豪州の製造事業で苦戦。住宅事業も市況改善せず低調。
- 住宅 :注文住宅事業の販売棟数増加・単価アップ。リフォーム事業も拡大。
- 不動産:開発事業は伸び悩んだものの、戸建分譲事業の好調により利益増。

# 4. 経常利益増減実績(前年比)



## 5. 住宅・不動産事業の受注・販売実績

◇決算短信参照 p.43

- ◆戸建注文住宅：受注・販売の金額・棟数とも前期を上回った。BF構法・太陽光パネル搭載比率アップ、外構一体受注促進で受注・販売単価も上昇。
- ◆木造AP請負：事業拡大・収益力強化に取り組み、受注・販売金額とも大幅増加。

(金額:億円)		契約(受注)金額				販売金額			
		11/3期	12/3期	前期差	前期比	11/3期	12/3期	前期差	前期比
建築請負	(棟)	(8,926棟)	(8,962棟)	(+36棟)	(+0.4%)	(8,721棟)	(9,007棟)	(+286棟)	(+3.3%)
	戸建注文住宅	2,844	2,952	+108	+3.8%	2,709	2,941	+232	+8.6%
	木造AP請負	73	112	+38	+52.1%	67	79	+12	+18.2%
	その他請負	2	6	+4	+266.7%	36	6	△30	△83.5%
分譲・開発事業	戸建分譲	—	—	—	—	96	99	+3	+3.1%
	土地	—	—	—	—	58	50	△8	△13.8%
	不動産開発	—	—	—	—	97	73	△24	△24.7%
	その他	—	—	—	—	69	114	+45	+64.9%

※受注金額は、当期の受注金額から当期に解約となった物件の受注金額を差し引いて表示。

## 6. 投資案件

### ◆設備投資

<※取得ベース>

(単位:億円)

(連結)	11/3期	12/3期	前期差	前期比
有形固定資産	119	110	△9	△7.6%
無形固定資産	24	27	+3	+12.5%
その他	2	2	△0	△10.0%
合計	146	139	△6	△4.3%

### ◆投資の主な内容

ベトナムパーティクルボード工場建設関連 …49億円

システム投資 …25億円

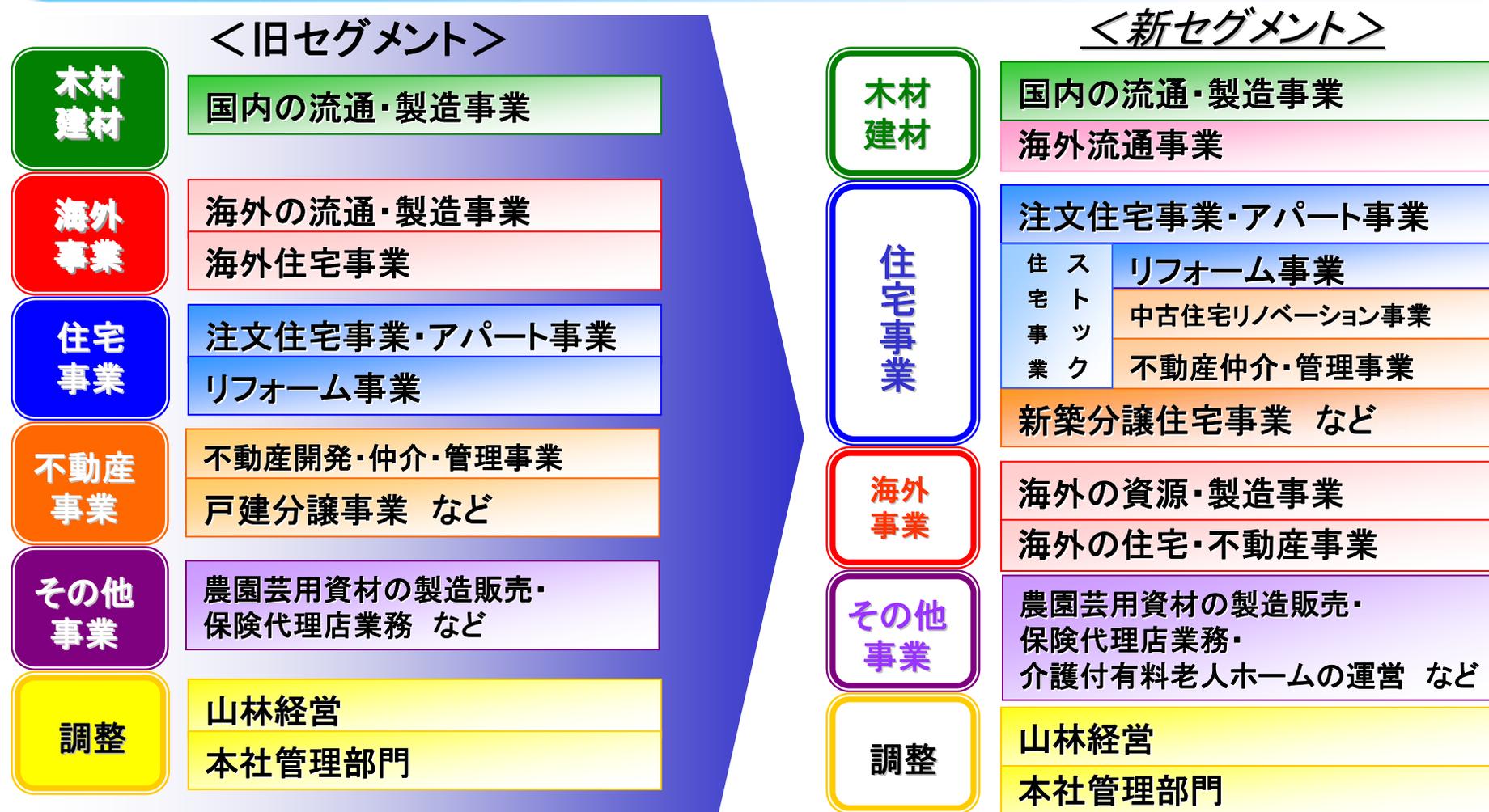
住宅展示場 …15億円

# 2013年3月期 業績予想

---

# 1. セグメントの主な変更について

- 流通事業の統一 ⇒ 海外流通事業を木材建材セグメントへ
- 住宅事業と不動産事業を統合 ⇒ 確かな差別化要素に裏打ちされた事業を展開



# 2012/3期 セグメント別業績<新旧対比>

(億円)

売上高

<旧セグメント>	12/3	前期差	前期比
木材建材事業	3,998	+96	+2.5%
海外事業	376	+44	+13.1%
住宅事業	3,747	+284	+8.2%
不動産事業	442	△66	△13.1%
その他事業	121	△15	△10.8%
調整	△365	+1	-
合計	8,319	+344	+4.3%

<新セグメント>	12/3	前期差	前期比
木材建材事業	4,053	+113	+2.9%
住宅事業	4,151	+215	+5.5%
海外事業	350	+32	+10.2%
その他事業	140	△13	△8.4%
調整	△376	△3	-
合計	8,319	+344	+4.3%

経常利益

<旧セグメント>	12/3	前期差	前期比
木材建材事業	47	△2	△3.7%
海外事業	△29	△10	-
住宅事業	246	+56	+29.7%
不動産事業	12	+3	+32.1%
その他事業	7	+2	+41.3%
調整	△76	+16	-
合計	207	+65	+45.8%

<新セグメント>	12/3	前期差	前期比
木材建材事業	48	△2	△3.8%
住宅事業	258	+59	+29.1%
海外事業	△29	△10	-
その他事業	7	+4	+94.2%
調整	△77	+15	-
合計	207	+65	+45.8%

## 2. 総括

◇決算短信参照 p.42

- ・経費は増加するが、経常利益230億円は確保する。
- ・販管費の主な増加要因：重点事業(リフォーム事業・海外事業)の拡大、人件費、教育費、研究開発関連費用、販売直接経費の増加等。

(単位:億円)

(連結)	12/3期 実績	13/3期 予想	前期差	前期比	12/3期 〔数理差異 除く〕	数理差異除く	
						前期差	前期比
売上高	8,319	8,450	+131	+1.6%	8,319	+131	+1.6%
売上総利益	1,369	1,405	+36	+2.7%	1,369	+36	+2.7%
販管費	1,177	1,180	+3	+0.3%	1,128	+52	+4.6%
営業利益	192	225	+33	+17.2%	241	△16	△6.7%
経常利益	207	230	+23	+11.0%	256	△26	△10.3%
当期純利益	93	130	+37	+40.2%	122	+8	+6.4%

## 3. セグメント売上高及び経常利益

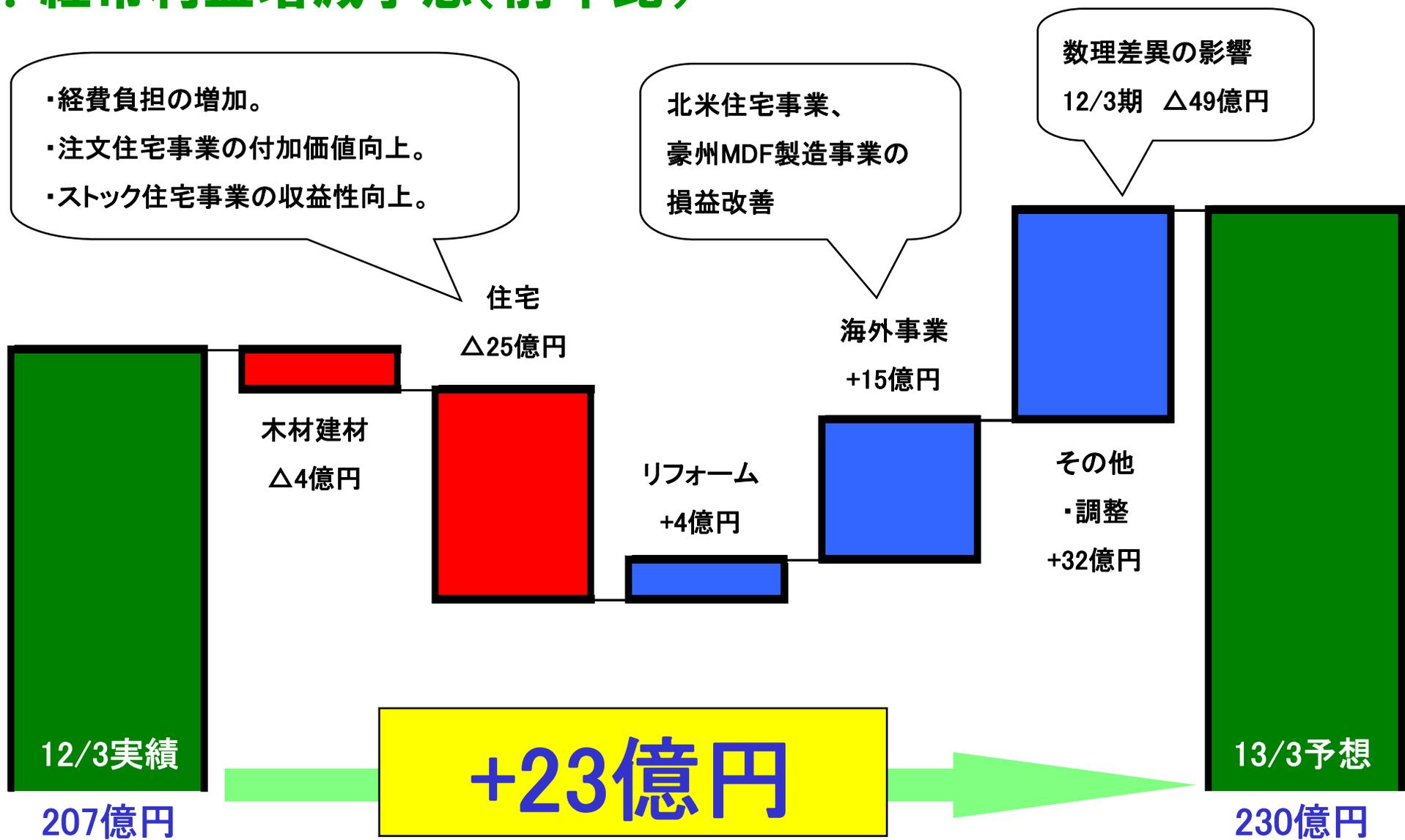
◇決算短信参照 p. 42

(単位:億円)

(連結)	売上高				経常利益			
	12/3期	13/3期	前期差	前期比	12/3期	13/3期	前期差	前期比
木材建材事業	4,054	4,000	△54	△1.3%	48	44	△4	△8.0%
住宅事業	4,151	4,300	+149	+3.6%	258	237	△21	△8.1%
海外事業	350	400	+50	+14.4%	△29	△14	+15	—
その他	140	150	+10	+6.8%	7	5	△2	△31.3%
調整	△376	△400	△24	—	△77	△42	+35	—
合計	8,319	8,450	+131	+1.6%	207	230	+23	+11.0%

- 木建 : 《国内地域戦略》と《グローバル流通戦略》を推進。
- 住宅 : 経費負担増加。注文住宅事業は付加価値向上とコストダウンを目指す。  
ストック住宅事業はシナジー効果を発揮し独自のビジネスモデルを構築。  
リフォーム事業は増収増益で順調に事業拡大。
- 海外 : 前期減損実施した豪州MDF製造事業や北米住宅事業を中心に改善。

# 4. 経常利益増減予想(前年比)



## 5. 住宅・不動産事業の受注・販売見通し

◇決算短信参照 p.43

◆戸建注文 : 受注は、今期も引続き都市圏戦略を強化するとともに、商品の差別化による付加価値を向上させ、9,000棟の達成を目指す。

販売棟数は期初受注残棟数、着工推移から9,000棟となる見通し。

◆不動産開発: 中古再販物件に特化したリノベーション事業の体制を構築。

(金額:億円)		契約(受注)金額				販売金額			
		12/3期	13/3期	前期差	前期比	12/3期	13/3期	前期差	前期比
	(棟)	(8,962棟)	(9,000棟)	(+38棟)	(+0.4%)	(9,007棟)	(9,000棟)	(△7棟)	(△0.1%)
建築請負	戸建注文住宅	2,952	2,979	+27	+0.9%	2,941	2,961	+20	+0.7%
	木造AP請負	112	125	+13	+11.9%	79	94	+15	+19.0%
	その他請負	6	12	+6	+105.0%	6	10	+4	+70.9%
分譲・開発事業	戸建分譲	—	—	—	—	99	113	+14	+14.6%
	土地	—	—	—	—	50	43	△7	△13.8%
	不動産開発	—	—	—	—	73	150	+77	+105.3%
	その他	—	—	—	—	114	94	△20	△17.6%

※受注金額は、当期の受注金額から当期に解約となった物件の受注金額を差し引いて表示。

## 6. 投資案件

### ◆設備投資

<※取得ベース>

(単位:億円)

(連結)	12/3期	13/3期	前期差	前期比	11/3期
有形固定資産	110	112	+2	+1.6%	119
無形固定資産	27	35	+8	+29.4%	24
その他	2	1	△0	△37.6%	2
合計	139	149	+9	+6.5%	146

### ◆投資の主な内容

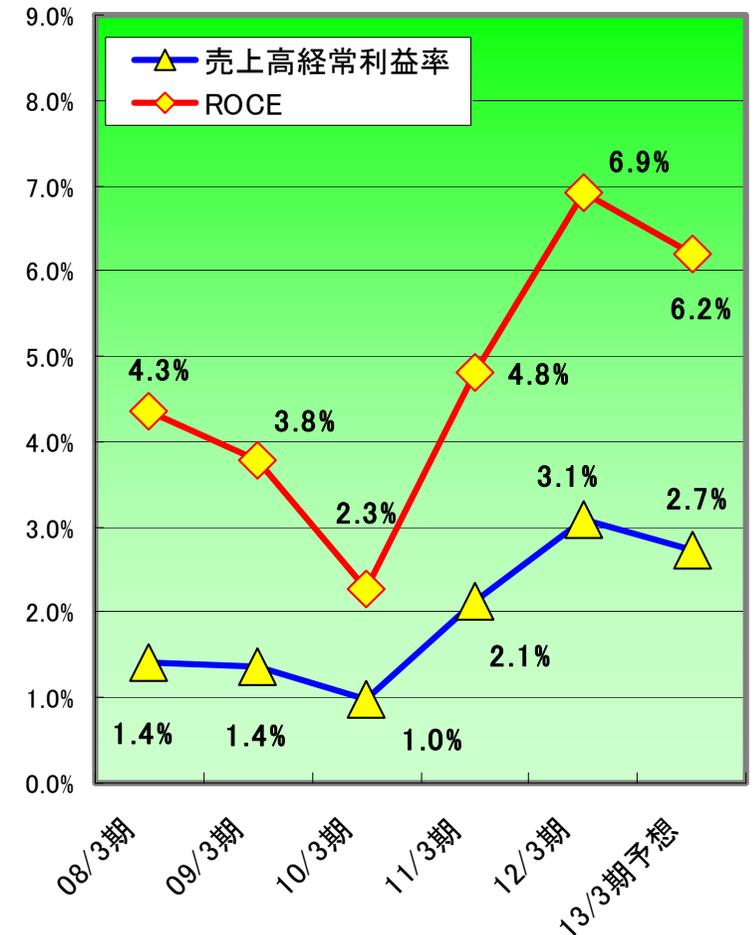
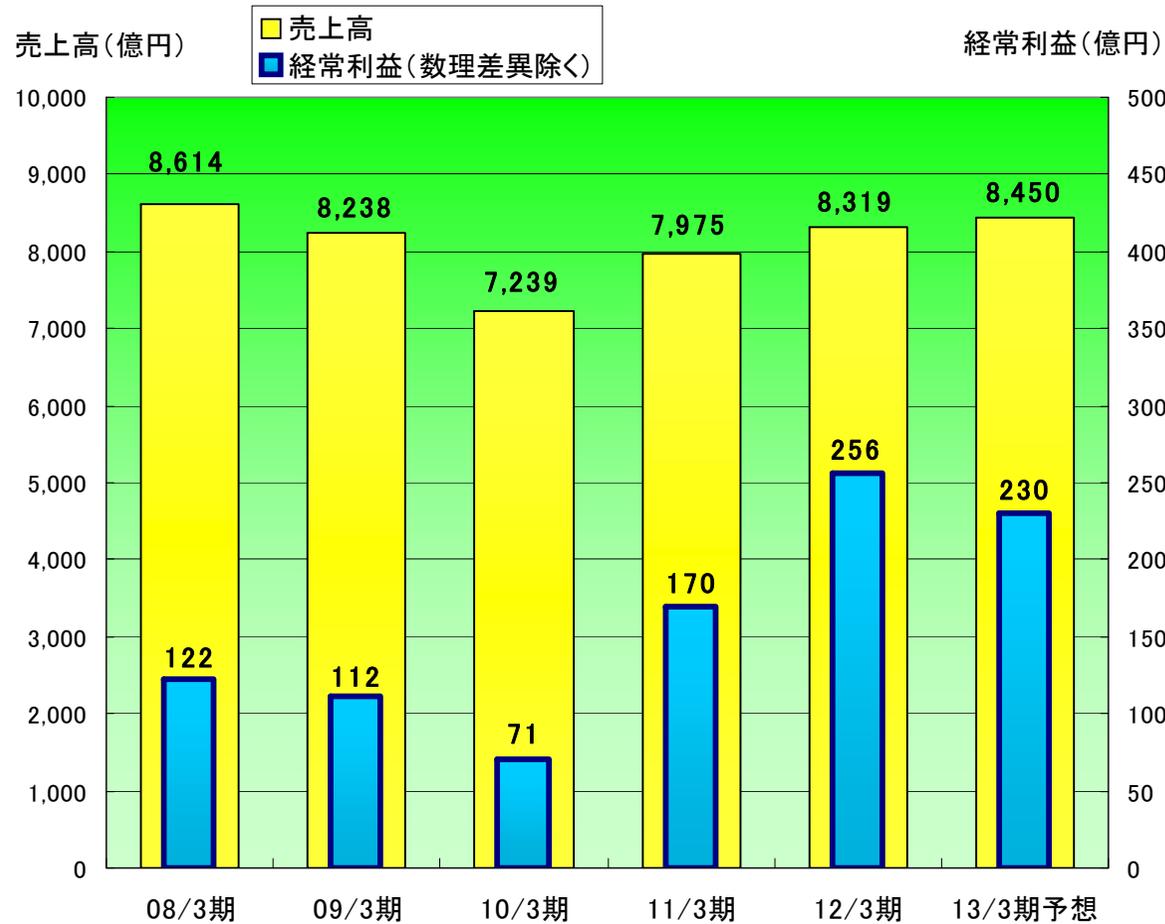
システム投資 …34億円

住宅展示場 … 29億円

ベトナムパーティクルボード工場関連 …14億円

その他国内・海外製造拠点設備投資関連 …17億円

## 7. 損益および売上高経常利益率・ROCEの推移(数理差異の影響を除くベース)



※ 13/3期は予想数値

※ 12/3期以前の経常利益は数理差異を除いた数値

**本資料上の予想数値は現時点での予測に基づいており、  
実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。**

